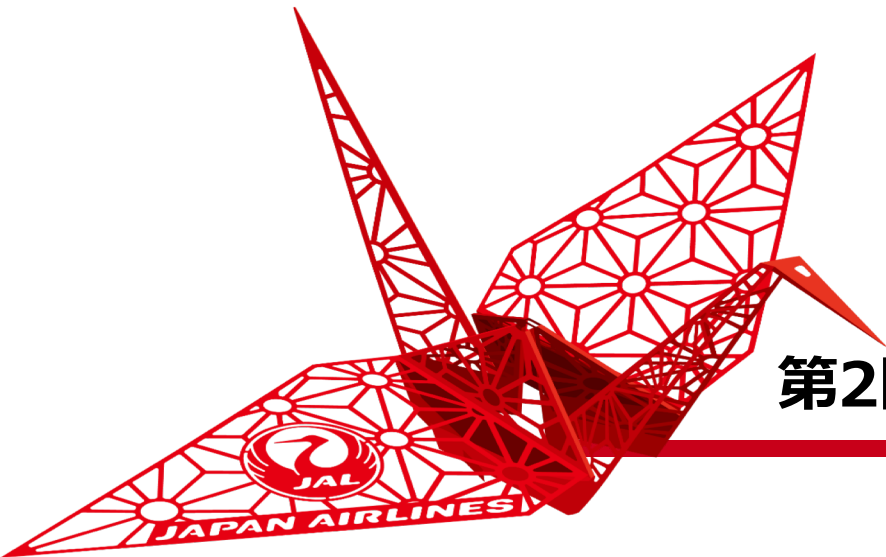




第2回 JATA Online Travel Mart

日本航空 旅客販売推進部 杉本一走

2021/11/19

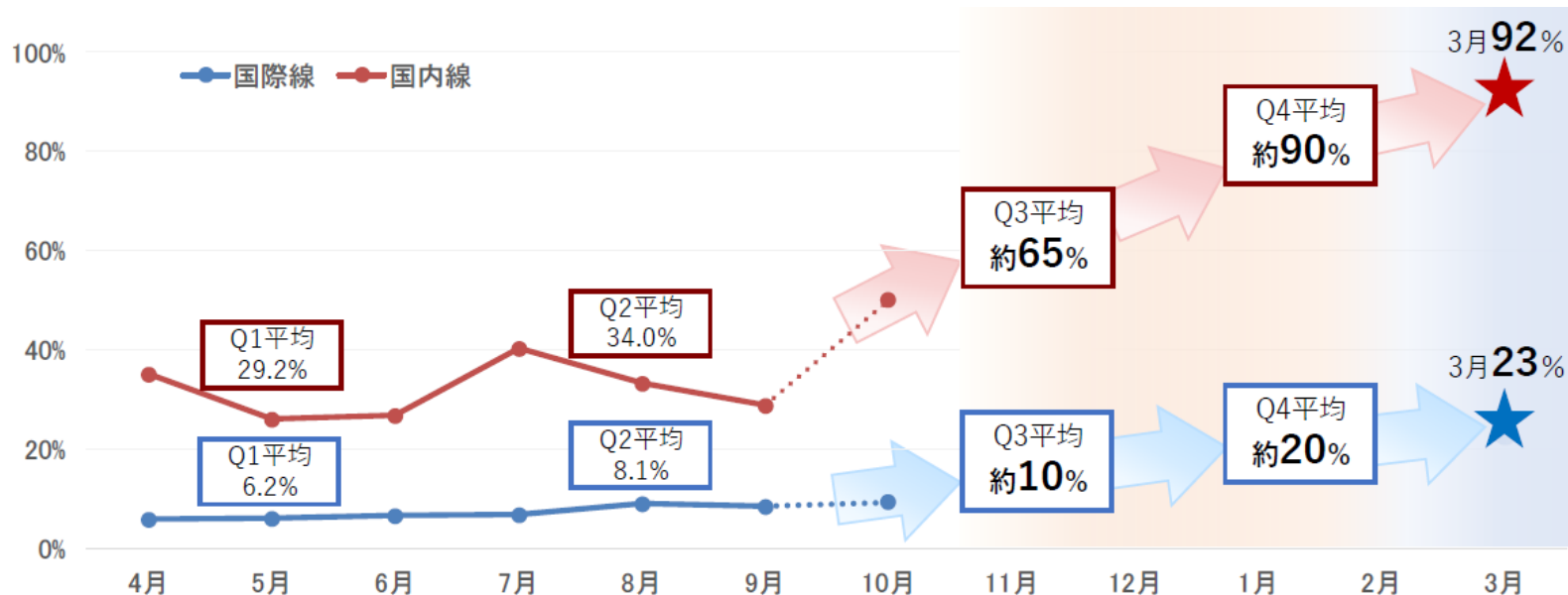


JAPAN AIRLINES

- 旅客需要予想
- 安全・安心の取り組み
- ネットワーク ～ヨーロッパ線のご紹介～
- 需要喚起に向けた取り組み ～国内線のご紹介～
- 将来に向けた取り組み ～次世代モビリティ事業～
- JAL Vision 2030

旅客需要予想

旅客数予測（コロナ前比較）



*2022年3月期第2四半期 決算発表資料より

SKYTRAX「ワールド・エアライン・アワード」で高品質なサービスと感染症対策が評価されました



SKYTRAX 社^(*1)の「ワールド・エアライン・アワード2021」^(*2)において、「ワールド・ベスト・エコノミークラス」を2期連続で、「ベスト・エコノミークラス・エアラインシート」も4期連続（5回目）で受賞しました。

^(*1) SKYTRAX 社：英国ロンドンに拠点を置く航空業界の格付け会社

^(*2) ワールド・エアライン・アワード：SKYTRAX社がオンライン上100か国以上、1,300万人以上の航空利用者を対象に独自の調査を行い、集計した結果で発表されるアワード



また、優れた新型コロナウイルス感染症対策を実施しているエアラインに贈られる「COVID-19 Excellence Awards」が新設され、JALの感染症対策「JAL FlySafeの取り組み」が評価されました。SKYTRAX社の「Covid-19 Airline Safety Rating」での最高評価5スターとAPEXの「Health Safety Powered by SimpliFlying Audit」での最高評価Diamondに続き、3つの認定を受けています。



上記の情報は、2021年11月5日時点の情報に基づきます。最新の情報はJAL Webサイトでご確認ください。

安全・安心はさらなるステージへ

「JALコロナカバー」対象期間を2022年1月10日(ご出発分)まで延長

JALはAllianz Travelと提携し、国際線ご利用のすべてのお客さまに渡航時の新型コロナウイルス感染症陽性判定時に医療費・検査費・隔離費用がサポートされるサービスを期間限定で**無償で提供**いたします。

対象期間	2020年12月23日～ 2022年1月10日(ご出発分)
対象便	JAL国際線（JAL便名JAL運航に限ります）
有効期間	JAL国際線のご搭乗日から31日間有効 *ただしお客さまの居住国内の支援はございませんので、居住国に戻った時点で失効となります。

※サポートを受けるには事前連絡が必要です。新型コロナウイルス感染が疑われる場合は必ずJALコロナカバーサポートにご相談ください。
(お客さまご自身で費用をお支払になった場合、後日これらの費用を申請いただくことはできません。)

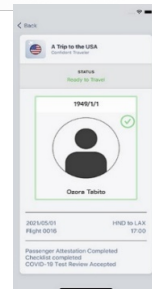
「JALコロナカバー」のポイント

- ◇ 24時間無休の医療・宿泊手配に関するご相談窓口をご用意(日本語対応)
- ◇ 渡航先での新型コロナウイルス感染症陽性判定時にかかる医療費・検査費・隔離費用をサポート
- ◇ 医師や保健局から濃厚接触者と判定された場合や、発熱などの疑わしい症状があり
検査や隔離を要請された場合の、陽性判定前の隔離・宿泊費用をサポート
- ◇ 上記のサービスは無償かつ事前申し込み不要でご提供いたします。

デジタル証明書アプリ「VeriFLY」を活用したワクチン接種証明書の登録が可能となりました

安全・安心でスムーズな渡航の早期実現を目指し、デジタル証明書アプリ「VeriFLY」を導入します。
デジタル証明書は、登録した情報にもとづく渡航資格をアプリ画面に表示させ、チェックインカウンターにて提示することで、搭乗手続きをスムーズに進めることが可能となりますのでこの機会にぜひご利用ください。

- ✓ 米国に入国する渡航者のワクチン接種義務化に合わせ、VeriFLYでワクチン接種証明書の登録が可能となりました
- ✓ 現在VeriFLYを使用できないハワイ線においても、年内にはVeriFLYの運用を開始できる見込みです
- ✓ その他、ヨーロッパ・アジア路線への展開も検討してまいります



日本航空における 実証フライト	 ・6/15～8/25 羽田-ホノルル 羽田/成田-シンガポール	 ・4/26～8/25 羽田/成田-米国 (ハワイ・グアム除く)	 ・4/2 羽田-ホノルル ・4/5 成田-シンガポール
特徴	●医療機関から自動で連動 ●渡航要件を自動で判定 ●入国可能国：シンガポール	●陰性証明書はご自身でアップロード ●渡航に必要な書類全般を登録可 ●入国可能国：アメリカ（本土）	●医療機関から自動で連動 ●入国可能国：シンガポール

ネットワーク ～ヨーロッパ線のご紹介～



ヨーロッパのハブ空港へ直行便で快適にアクセス。その先の欧州各都市へも、便利にお乗り継ぎいただけます。

*下記の運航時刻・運航計画は、2021年10月21日時点の11月23日～11月29日運航情報に基づきます。その後変更になる可能性もあります。

ロンドン

JL043/044便は毎日運航！

JAL043 羽田11:30発→ロンドン15:15着

JAL044 ロンドン19:00発→羽田15:55着(翌日)

JL041/JL042便は週3便運航！

JAL041 羽田02:45発→ロンドン06:25着

JAL042 ロンドン09:55発→羽田06:50着(翌日)

パリ

パリ線は12～1月は毎日運航！

JAL045 羽田10:55発→パリ15:40着

JAL046 パリ18:55発→羽田14:45着(翌日)

ヘルシンキ

ヘルシンキ線は11～1月は週4便運航！

JAL047 羽田11:35発→ヘルシンキ15:00着

JAL048 ヘルシンキ17:40発→羽田10:10着(翌日)

フランクフルト

フランクフルト線は12～1月は週4便運航！

JAL407 成田11:25発→フランクフルト16:30着

JAL408 フランクフルト19:40発→成田13:55着(翌日)

【期間限定】ヘルシンキ線乗り継ぎ ラウンジ利用キャンペーン

キャンペーン期間中に東京（羽田）→ヘルシンキ線（JL047便）をご利用で欧州域内都市への乗り継ぎ便をご利用の場合、**ヘルシンキ空港のAspireラウンジを無料でご利用いただけます。**

対象搭乗期間	2021年11月1日(月)～2022年3月31日(木) 日本発
対象のお客さま	以下のすべての条件に当てはまるお客さま ・JL047便(羽田発ヘルシンキ行き)から欧州域内都市*ヘフィンエアー (AY) 運航の乗継便を利用されること *シェンゲン協定加盟国以外の都市（イギリス・ロシアの都市など）への乗り継ぎは対象外。 ・当社発券の131で始まる航空券であること
対象クラス	プレミアムエコノミークラス、エコノミークラス
ご利用方法	ヘルシンキ空港のAspireラウンジにて、JL047便の搭乗券および乗り継ぎ便(フィンエアー)の搭乗券をご提示ください。

需要喚起に向けた取り組み ～国内線のご紹介～



国内線

東京ディズニーランド®貸切パーティーなどが当たる！

JAL ハッピードリームキャンペーン

JALグループ国内線に二回乗って、応募で当たる！ JAL主催 プライベート・イブニング・パーティへご招待！

対象搭乗期間 2021年11月1日(月)～2022年1月10日(月・祝)

ハッピードリーム賞

東京ディズニーランド® 貸切パーティー招待券
2,500組5,000名様

JAL賞

JALグループ国内線 往復航空券 50名様

国内線

「いつでも特典航空券」を国内線に導入

「混雑する時期でもマイルで予約が取れるよう、国内線特典航空券を使いやすくしてほしい」というお客さまの声にお応えし、2021年11月1日よりJALグループ国内線特典航空券の新サービスとして「いつでも特典航空券」を導入します。年末年始やゴールデンウィーク、夏休みなどの混雑する時期で、通常の特典航空券でご予約できる席に空席がない場合でも、マイルを活用いただくことで、特典航空券でのご搭乗の機会が広がります。

必要マイル数

単位:マイル

区間	通常の特典航空券	いつでも特典航空券
A区間	6,000	13,000
B区間	7,500	24,000
C区間	10,000	40,000

将来に向けた取り組み ～次世代モビリティ事業～

ドローン・空飛ぶクルマ



※機体はイメージです。

2023年度の「ドローン」事業化を目指しています。
医療や買い物へのアクセスが難しい離島や中山間地での物流課題の解決、
さらには災害時の緊急物資の輸送等に向けて、継続的に準備を進めています。



©Volocopter

※機体はイメージです。

環境にやさしく機動性の高い「空飛ぶクルマ」を活用して、2025年度の事業化を目指しています。空港を起点とした移動手段や観光利用だけでなく、救急医師搬送や災害時の対応なども想定しています。

JALグループは、大きく時代が動き価値観が変わるなか、「安全・安心」と「サステナビリティ」を未来への成長のエンジンとして、以下を実現します

安全・安心

確かな安全と
いつも心地よい安心を
感じられる
社会を創ります

サステナビリティ

誰もが
豊かさと希望を
感じられる
未来を創ります

多くの人々やさまざまな物が自由に行き交う、
心はずむ社会・未来において
世界で一番選ばれ、
愛されるエアライングループを目指します

■ ANAとJAL、2050カーボンニュートラルに向けた SAF（持続可能な航空燃料）に関する共同レポートを策定 ＊2021年10月08日プレスリリース

・ANAとJALは、SAFの認知拡大および理解促進を目的とした共同レポート「2050年航空輸送におけるCO2排出実質ゼロへ向けて」を策定しました。

・両社でSAFの量産と活用について幅広く発信し、日本と世界をつなぐ重要な社会インフラとして航空輸送を次世代に継承するために政府ならびに関係者と連携し、SAFの普及に取り組むとともに、その他のさまざまな環境対策等についても協力して推進してまいります。



ご清聴ありがとうございました！